令和5年度 指定管理業務 評価票

1 基本事項

⑴公の施設の名称	シャルマン火打スキー場
⑵施設の設置目的	交流人口の増加を図り、地域振興及び地場産業の振興並びに市民の健康増進及び体育の向上に寄与する
⑶所管部署	能生事務所
⑷指定管理者	火打山麓振興株式会社
⑸指定期間	令和5年4月1日から令和8年3月31日までの３年
⑹主な事業	

① 施設の管理運営に関する業務
　利用申込の受付等・利用料金の徴収・管理業務、施設、設備、器具及び備品の維持管理
② 各種教室運営・大会の開催に関すること
　大会の誘致や企画・教室の企画及び実施
③ その他の業務
　レストランやレンタル等の運営

2 管理運営状況

⑴令和5年度管理運営状況（主要な取り組み・成果、地域貢献等の実績）

●国内でも稀有な降雪量を売りに広範囲から集客している(90%以上が糸魚川市外、概ね65%が新潟県外)。
●ウィンタースポーツ文化の継承発展のため各種大会やスキー・スノーボード教室の会場としての役割も担った。
●シャルマンを基盤としたスキークラブを設立し、新潟県スキー連盟とのつながりも作り毎年春には上越地区のジュニアスキー大会が行われている。
●スキースクールを招致し、初心者から上級者までスキーやスノーボードの技術向上に寄与している。
●障害者と健常者を対象とした、icetee cup を開催するなど、障害者にも配慮した大会を開催した。

⑵利用状況

（単位：人）

	Ｒ３年度	Ｒ４年度	Ｒ５年度
指定管理者名	火打山麓振興株式会社	火打山麓振興株式会社	火打山麓振興株式会社
総利用者数	167,898	216,700	202,029
リフト発券数	16,140	18,493	17,241
入込数（観光動向調査）	16,150	23,493	22,245

⑶施設の設置目的達成に関する取組み

・交流人口の増加を図るため、県内はもとより県外へもＰＲ活動を行った。特に当スキー場は、北陸・関西方面からの利用客が多いため、富山・石川県や近畿地方を中心にスポーツ店を訪問するなどＰＲ活動に努めた。
・スキー客の機運を盛り上げるため、当社主催のイベント「シャルマンカップ」の開催、当スキー場を会場とした障害者も含めたイベント icetee cup の開催や新製品試乗会の開催などを行った。
　また、例年魚津市民スキー大会の開催やスキースクールを招致している。
・市民の健康増進や体育の向上に寄与するため、リフト券の市民割を行うなど、市民がお手ごろな価格でスキーを楽しめるように配慮した。

⑷収支状況

（単位：千円）

区分			R３年度 計画	R３年度 実績	R４年度 計画	R４年度 実績	R５年度 計画	R５年度 実績	６年度(予算) 計画
収入	売上高	指定管理料	46,500	46,500	46,500	46,500	43,500	43,500	43,500
		利用料金	56,000	55,321	49,000	64,918	50,000	60,820	50,000
		事業収入	24,500	7,831	9,000	9,632	15,000	9,585	15,000
		その他営業収入等	15,400	11,154	15,500	11,154	15,500	16,934	15,500
		小計	142,400	120,806	120,000	132,204	124,000	130,839	124,000
	営業外収益	除雪受託料		1,457		4,406		3,742	
		雑収入		-253		1,237		849	
		小計	0	1,204	0	5,643	0	4,591	0
	※1	引当金戻入益		883					
	※1	コロナ関連補助金等		687		1,555			
	※2	仮受消費税		6,225		7,660		7,393	
計			142,400	129,805	120,000	147,062	124,000	142,823	124,000

※1　特別利益　　※2　法人税等

区分			R３年度 計画	R３年度 実績	R４年度 計画	R４年度 実績	R５年度 計画	R５年度 実績	６年度(予算) 計画
支出	売上原価	期首棚卸高	16,142	1,305		1,583		1,088	
		仕入高	21,000	3,684	11,400	4,532	11,600	4,506	11,400
		期末棚卸高	16,142	1,583		1,088		1,109	
		小計	21,000	3,406	11,400	5,027	11,600	4,485	11,400
	販売費一般管理費	役員報酬		1,934		2,366		2,424	2,200
		従業員給与	51,000	47,148	40,000	47,979	40,000	51,429	40,000
		賞与引当金繰入額							
		販売員旅費	500	55	100	44	100	61	100
		広告宣伝費	4,500	2,199	4,500	1,966	2,500	1,659	2,500
		大会費		68		49		146	
		販売促進費		32		33		18	
		販売手数料		445	950	681	1,050	1,096	1,100
		福利厚生費	5,500	8,626	4,900	8,639	4,900	9,133	4,900
		減価償却費	1,500	1,626	1,500	908	750	1,008	750
		修繕費	6,500	5,433	6,500	4,911	5,600	10,485	5,600
		事務用品費	4,100	3,646	4,100	3,320	4,750	4,652	4,500
		通信交通費	1,050	613	1,250	573	1,250	546	850
		光熱水費	9,200	8,760	8,500	13,863	13,200	13,517	13,200
		租税公課	4,000	246	4,000	361	4,000	313	4,000
		接待交際費		1,114	200	364	100	686	100
		保険料	2,000	1,724	2,000	1,600	2,000	1,725	1,800
		委託料	14,000	14,832	14,000	12,290	12,000	12,674	12,000
		支払手数料	5,500	4,720	5,500	5,227	5,500	4,655	5,100
		賃貸・リース料	1,100	568	600	220	600	227	400
		借上料	950						
		使用料		59		82	100	66	
		燃料費	9,000	14,171	9,000	11,225	13,000	10,449	13,000
		雑費	1,000	1,287	1,000	1,184	1,000	1,131	500
		小計	121,400	119,306	108,600	117,885	112,400	128,100	112,600
	営業外費用	雑損失		1		29			
		小計	0	1	0	29	0	0	0
	※2	仮払消費税		5,918		6,444		6,645	
計			142,400	128,631	120,000	129,385	124,000	139,230	124,000

※2　法人税等

	R３年度 計画	R３年度 実績	R４年度 計画	R４年度 実績	R５年度 計画	R５年度 実績	６年度(予算) 計画
当期純利益	0	1,174	0	17,677	0	3,593	0

「収支状況」における市の状況分析	売上高については、入込数の減少のため昨年実績を下回る収入となっている。支出は仕入原価、光熱水費、燃料費が高騰しており、今後さらに上昇することが懸念され、経営を圧迫する一つの要因となる。新型コロナが５類に移行しレジャーが多様化したことにより利用者の分散が考えられる。今後は、入込数を取り戻し、いかに収入を増加させるかが課題となる。

３ 適正な管理運営の確保

目標管理	評価指標	スキー場という自然に大きく影響を受ける環境下での安全確保
	目　標	索道事故ゼロ、遭難救助案件ゼロ
	実　績	索道事故、遭難救助案件ともに無かった

	点検項目	【実施状況】
実施状況	・施設の設置目的を十分に理解し、適正な管理運営をしているか。	・施設の設置目的に沿って、お客様の安全を最優先に適正な管理運営を行っている。
	・誰もが利用できる仕組みを構築し運営しているか。	・高齢者や障害者及び外国人等に配慮した、適正な運営を行っている。
	・協定書及び仕様書等に基づいて設備の保守点検や備品の点検を適正に実施しているか。	・索道やセンターハウスの衛生管理等来場者の安全に関わる保守点検を適正に実行した。 ・設備・備品等の管理、パトロールの安全管理は各部署で点検した内容を記録簿に記載し、いつでも第三者が点検できるようにしている。
	・協定書、事業計画書等で定めた職員体制がとられているか。	・協定書、事業計画書等に沿った職員体制をとっている。
	・利用者が安全、安心に利用できるような緊急・救急体制を有しているか。	・安全管理についてマニュアル・体制を作成し、教育・訓練を実施、事故防止に努めた。 ・けが人が発生した時や必要な場合は消防、警察と連携し、適切に対処した。
	・事故防止や事故発生時の対応について研修等を実施しているか。	・12月オープン前に全従業員と消防も参加し、救助・避難訓練・救急救命講習を実施している。
	・利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	・ご意見箱の設置やメール等での意見、また要望等を常にチェックし、職員で共有しながら対応を図っている。

		指定管理者の自己評価	市の評価
評価等	評　価	Ａ＋	Ａー
	評価理由	索道（リフト）係及びパトロール隊に、事前研修等を行い、事故ゼロでシーズンを終わることができた。 遭難の防止については、エリア外滑走の危険性についての放送やインバウンド向けに英語表記を交えた午前中の入山の徹底など適正な管理に努めた。 元日の能登半島地震の際には、適切な避難誘導を行い、けが人も無かった。	目標を達成できたことから「Ａー」評価とした。今後も事故のないように対応をお願いしたい。
	改善事項	全体的に高齢化が進んでおり人材不足は顕在化している。ハローワークをはじめ過去の従事経験者のネットワークを活用し人材確保に努めている。	最近は、どこも人材不足が課題となっているが、地域雇用の場として人材確保に努めていただきたい。

【評価基準】

ランク		目標達成率（％）	判断基準
AAA		115％以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA		105％以上　115％未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A＋	100％以上　105％未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	Aー	95％以上　100％未満	
B		80％以上　95％未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C		80％未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

４ 利用者サービスの向上や利用者数増の取り組み

目標管理	評価指標	サービス・知名度・関心度の向上による利用者数増
	目　標	リフト券発券数24,000枚、入込数（観光動態調査）32,000人
	実　績	リフト券発券17,241枚（対目標71.8%）、入込数22,245人（対目標69.5%）。
資料		

実施状況	点検項目	【実施状況】
	・施設の設置目的を達成するための具体的な取組があったか。	・交流人口の増加を図るため、県内はもとより北陸関西方面にまでＰＲ活動を広げた。 また、市民の多くの方からスキー等を楽しみ健康増進に寄与するため、リフト券の市民割引きを実施した。
	・利用促進に向けた取組みに努めているか。実現可能な利用促進策を実施しているか。	・お客様が知りたい当日の天気・ゲレンデ情報などホームページやＳＮＳ等を通じ情報発信している。 ・他スキー場との割引提携、ネットクーポンの活用等多彩なサービスを行っている。
	・教室、イベント、自主事業などの取組み状況	・スキースクールを招致し、お客様の技術向上に寄与している。 ・シャルマンカップ等のイベントを開催している。特にicetee cupなど障害者にも配慮した大会を開催し集客に努めている。
	・利用者数増加のためのＰＲ活動は実施しているか。	・来場客の特性、関心に合わせ、インターネット・放送媒体・刷物・販促イベント等を使いＰＲ活動を行った。北陸、関西方面からの来場者が多いことから、当該方面のスポーツ店を訪問するなどＰＲ活動に努めた。
	・利用者アンケート等を活用し利用者の要望や意見を把握しているか。また対応策を講じているか。	・メール・アンケート（センターハウス内）等により利用者の声を収集・対応している。
	・利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	・フリーWi-Fiを設置した結果、苦情・要望等がほとんどなくなった。 ・励ましの投書も何通かあり、丁寧に返事を送った。

評価等		指定管理者の自己評価	市の評価
	評　価	B	C
	評価理由	・新型コロナが５類に移行し、インバウンドが目に付くようになってきた。時に危険が　伴う恐れのある入山については、英語表記を追記するなど、安全管理とともにお客様サービスの向上に努めた。 ・フリーWi-Fiを整備したことで、お客様自身がＳＮＳ等を通じ情報発信を行っており、それが少なからず利用者数増にもつながっているものと思われる。また今年度は　地震の影響を受け、利用者数が減少したことを考慮し、「B」とした。	新型コロナが５類に移行しレジャーが多様化したことにより利用者が分散したこと、また、地震の影響を受けて利用者数が減少したことも目標達成率の低下となった要因の一つと考えられるが、目標には達成していないことから、評価基準により「C」評価とした。
	改善事項	今後更にインバウンドが増加してくるものと思われるので、これからは英語表記のみならず、台湾・東南アジアなども含めた多言語表記を行うことで、更なるサービスの向上に努めていきたい。	レジャーが多様化し利用者が分散することは今後も続くものと考えられ、厳しい状況の中でもＰＲ活動を続けて行くことが集客につながると思う。また、お客様自身がSNS等で情報発信してくれる楽しいイベント等も検討してほしい。

【評価基準】

ランク		目標達成率（%）	判断基準
AAA		115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA		105%以上　115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A＋	100%以上　105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A－	95%以上　100%未満	
B		80%以上　95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C		80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

５　収支や収益の向上に関する取り組み

目標管理	評価指標	利用料金収入の予算達成度
	目　標	50，000（千円）※指定管理事業計画上の予算額
	実　績	60，820（千円）※予算比 121.6%。

資料

年次の指定管理事業計画における利用料金（単位：千円）

	R3年度	R4年度	R5年度
予算	56,000	49,000	50,000
実績	55,321	64,918	60,820
差引	−679	15,918	10,820

実施状況

点検項目	【実施状況】
・施設の設置目的に沿った経費の執行ができたか。	・来場者が利用しやすいようリフト券の各種割引制度を設けたほか、市民の皆さんがスキー等を楽しみ健康増進の一助とするため、リフト券の市民割引きを実施した。
・利用料収入の目標達成度	・利用料金収入は指定管理計画予算比121.6%であった。
・収入増加のための取組みを実施しているか。	・電気料金を始めとした諸物価が高騰しているため、リフト券の利用料金を一部見直した。 ・県内はもとより来場者の多い北陸・関西方面を中心にスポーツ店へ訪問するなど営業活動を行った。また、インターネットを通じたリフト券の販売や企業向けのリフト券の販売にも取り組んだ。
・収支決算書は適正に作成されているか。	・収支決算は毎月会計事務所の監査を受けており適正に処理されている。
・経費削減や業務の効率化に取り組んでいるか。	・ゲレンデの圧雪整備作業は休日には３台体制だが、平日は２台体制として人件費や燃料費、機械の消耗を軽減する取り組みを続けている。
・利用者等からの意見・要望・苦情等とその対応	・常時アンケートを回収し、住所・氏名のあるものには丁寧な回答を行った。即時対応に対する評価や励まし、接遇に対する誉め言葉も頂いている。

評価等

	指定管理者の自己評価	市の評価
評　価	A＋	A＋
評価理由	・新型コロナが５類になりレジャーが多様化する中、能登半島地震発生の影響により、利用者数は、対前年度の6.7%減、事業収入としても対前年度比で93.7%であったが、対目標予算比では121.6%であった。 ・予算目標と前年度比を考慮し、評価をA＋とした。	リフト券利用料金の一部値上げの効果により目標を達成しているが、入込数・売上は前年度から減少していることを踏まえ、「A+」評価とした。
改善事項	スキースクールと更なる連携強化を図ることで、スクールを始めとした全体の利用者増及び収益の増加に繋げていきたい。	スキースクール等の連携強化を進めスキースクール全体の利用者増に努めることで、収益の増加にもつながるが、今まで以上にＰＲ活動の強化が必要。

【評価基準】

ランク		目標達成率（%）	判断基準
AAA		115%以上	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に上回る成果があり、特に優れているもの。
AA		105%以上　115%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を上回る成果があり優れているもの。
A	A＋	100%以上　105%未満	事業計画の目標や仕様書の内容に概ね沿っているもの。
	A－	95%以上　100%未満	
B		80%以上　95%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を下回り、改善努力が必要なもの。
C		80%未満	事業計画の目標や仕様書の内容を大幅に下回り、早急に改善対策を要するもの。

６ 公の施設の設置目的と全体評価

<table>
<tr><td rowspan="9">検証等</td><td></td><td colspan="3">市の評価</td></tr>
<tr><td rowspan="6">評　価</td><td>設置目的</td><td>目標管理（評価指標）の再掲</td><td>指標別評価</td></tr>
<tr><td rowspan="3">交流人口の増大を図り、地域振興及び地場産業の振興並びに市民の健康増進及び体育の向上に寄与するため、スキー場を設置する。</td><td>スキー場という自然に大きく影響を受ける環境下での安全確保</td><td>Ａ－</td></tr>
<tr><td>サービス・知名度・関心度の向上による利用者数増</td><td>Ｃ</td></tr>
<tr><td>利用料金収入の予算達成度</td><td>Ａ＋</td></tr>
<tr><td colspan="2">評価内容</td><td>総合評価</td></tr>
<tr><td colspan="2">・市外利用者が90％と多く、交流人口の面で設置目的に沿っている。
・従業員は地元雇用及びレストランの食材等の地元調達に力を入れており、地域振興及び地場産業の振興に寄与している。
・市民利用については、市内小中高校のスキー授業をはじめ、スキー、スノーボード愛好者の方々に利用され、市民の健康増進と体育の向上が図られている。
・施設の管理状況等は良好である。
・利用料金収入については、リフト券利用料金の一部値上げの効果もあり目標達成しているが、入込数・売上については減少していることから、来場者を増やす取組の強化が必要である。
・収支については、新型コロナウイルスが５類に移行しレジャーの多様化、能登半島地震の影響等で減となったが、目標収入を上回ることができた。
・指標別評価を総合的に判断し「Ｂ」と評価した。</td><td>Ｂ</td></tr>
<tr><td>課題検証</td><td colspan="3">・費用対効果に見合った投資
スキー場の設置効果を将来的に長く継続させていくためには、利用者数の増加と、スキー場への市の一般財源投入額を減らし、費用対効果を上げていくことが必要。施設や設備の老朽化が進んでいるが、費用対効果等から補修や入替が実施できないことが増えている。
・利用者数の確保
国内のスキー・スノーボード人口は1998年をピークにその後は減少が続き、当スキー場も同様の傾向にある。直近の10年程度は積雪状況等によって増減を繰り返し、さらには新型コロナウイルスが５類に移行してレジャーの多様化によって、今後も入込数の増加は厳しい状況が見込まれるが、お客様自身がＳＮＳ等で情報発信してくれる楽しいイベントを企画することで魅力あるスキー場となるような取組が必要である。</td></tr>
<tr><td>改善事項</td><td colspan="3">・新型コロナウイルス５類移行に伴いレジャーが多様化し利用者数の増加は厳しい状況が見込まれる。国内のスキー・スノーボード人口も減少しているが、新たな顧客層の開発が必要と思われる。今後も入込数の増加は厳しい中、ＰＲ活動を続けて行くことが大事である。また若年層やシニア世代へのＰＲや、当スキー場の特性を活かした誘客及び市内利用のさらなる促進を積極的に実施してもらいたい。</td></tr>
</table>

【総合評価】

評価区分	判断基準
AAA	優良である
AA	良好である
A	適正である
B	課題がある
C	改善を要する

公の施設指定管理者選定委員会（評価委員会）の意見書

１　指定管理者名　　　火打山麓振興株式会社

２　対 象 施 設　　　シャルマン火打スキー場

３　評価委員会の意見

項目	意　　　見
対象施設に対するもの	・今回利用料金を改定（値上）しているが、今後も最低賃金や光熱費の上昇が見込まれる。事業継続するうえで、適時適切な料金設定に努めること。 ・いわゆるバックカントリー（立入禁止区域）での事故防止に引き続き努めること。 ・ゴールデンウイークまで滑走可能という、当該施設固有の「強み」を活かして効果的な運営に努めること。
指定管理施設全体に対するもの	・指定管理者の負担感につながってはならないが、指定管理の評価が最低の「Ｃランク」という結果になったとき、市としてどのような対応をとるか、次のアクションを事前に決めておくことが可能かどうかも含め検討すること。 ・施設や設備の老朽化対策が集中する時期が近付いている。その時に適切な判断ができるよう、設置目的とその達成度を意識した評価を行うこと。